

# JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

*JEITA RC-8124D*

## スピーカシステム Loudspeaker systems

1995年3月制定

2022年3月改正

作成

AV&IT標準化委員会

AV & IT Standardization Committee

発行

一般社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

## 目 次 (CONTENTS)

ページ

## まえがき

1	適用範囲 (Scope)	1
2	引用規格 (Reference)	1
3	用語の定義 (Terms and definition)	1
4	種類 (Classification)	4
5	定格の推奨値 (Recommendation of rated conditions)	4
5.1	定格インピーダンス (Rated impedance)	4
5.2	入力インピーダンスの最低値 (Minimum value of input impedance)	4
5.3	定格ノイズ電力 (定格入力)・瞬時最大入力電力 (瞬時最大入力)・最大入力電力 (最大入力) (Rated noise power, short term maximum power and long term maximum power)	4
5.4	定格値に用いる許容差 (Tolerance of rated value)	4
5.5	極性 (Polarity)	5
6	測定及び試験条件 (Condition for measurement)	5
6.1	測定精度 (Accuracy)	5
6.2	試験室 (Test room)	5
6.3	測定周波数範囲 (Measuring frequency range)	5
6.4	音響負荷 (Acoustic loading)	5
6.5	レベルコントローラ (Level controller)	5
6.6	測定入力及び測定マイクロホン設定位置 (Input power and positioning of loudspeaker and measuring microphone)	6
7	試験機器及び装置 (Measuring equipment)	6
7.1	測定用マイクロホン (Measuring microphone)	6
7.2	ノイズ発生器 (Noise generator)	6
7.3	試験用ノイズ信号 (Test noise signal)	6
7.4	正弦波発生器 (Sine wave generator)	6
7.5	プログラム信号発生装置 (Program signal generator)	7
7.6	駆動用増幅器 (Power amplifier)	7
7.7	自動記録装置 (Automatic level recorder)	7
7.8	電圧計 (Voltmeter)	7
8	測定及び試験方法 (Method of measurement)	7
8.1	動作確認 (Listening test for normal operation)	7
8.2	異常音確認 (Undesirable rattle test)	8
8.3	インピーダンス曲線 (Impedance)	8
8.4	周波数レスポンス (Frequency response)	9
8.5	指向感度特性 (Directional response pattern)	11
8.6	特性感度レベル (Characteristic sensitivity level)	12
8.7	出力音圧レベル (Output sound pressure level)	13

8.8 音響出力 (Acoustic power) .....	13
8.9 定格ノイズ電力 (定格入力) (Rated noise power) .....	14
8.10 瞬時最大入力電力 (瞬時最大入力) (Short term maximum power) .....	15
8.11 最大入力電力 (最大入力) (Long term maximum power) .....	15
9 表示 (Marking) .....	16
10 参考文献 (Bibliography) .....	16
解説 .....	19

## まえがき

この規格は、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）の AV&IT 標準化委員会 音響変換機器標準化グループにおいて作成し、同委員会で審議、承認し改正した。

この規格は、**JEITA TSC-16**（電子情報技術産業協会規格類の作成基準）の作成基準によって作成した。

これによって、**JEITA RC-8124C:2017**は、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法によって保護されている著作物であるため、許可なくこの規格の一部又はすべてを複製・転載することを禁止する。

この規格は、この規格の一部が、工業所有権（特許権、実用新案権、意匠権など）に抵触する可能性に関係なく制定されている。一般社団法人 電子情報技術産業協会は、このような工業所有権に係る確認について、責任はもたない。

## 電子情報技術産業協会規格

## スピーカシステム

## Loudspeaker systems

## 1 適用範囲

この規格は、主に家庭用及び業務用の電気音響システムに用いるスピーカシステムに関する性能、表示などを規定する場合の基準及び電氣的試験法について規定する。ただし、増幅器内蔵スピーカシステム、コンデンサスピーカなどのバイアス電源などを内蔵したものは、適用除外とする。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）には適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JEITA CP-1203A	AV 機器のアナログ信号の接続要件
JEITA RC-8100D	音響機器通則
JEITA RC-8101E	音響機器用語
JIS C 1513	音響・振動用オクターブ及び 1/3 オクターブ分析器
JIS C 5532	音響システム用スピーカ
JIS Z 8103	計測用語
JIS Z 8106	音響用語
JIS Z 8601	標準数
IEC 60268-5	Sound system equipment - Part 5: Loudspeakers

## 3 用語の定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JEITA RC-8101E、JIS C 5532、JIS Z 8103 及び JIS Z 8106 によるほか、表 1 による。

特に、指定のない限り、自由音場での測定を標準とする。

表 1—用語の定義、記号及び単位

番号	用語及び定義	記号	単位	対応英語（参考）
1	<b>スピーカシステム</b> 1 個又は複数個のスピーカユニットを使用し、エンクロージャ、ホーンなどの音響負荷装置及び、クロスオーバーネットワーク、トランスなどの受動部品によって構成され、可聴周波数帯域を再生するための装置。	SS	—	loudspeaker system
2	<b>音響負荷</b> スピーカシステムを構成するスピーカユニットから、音響エネルギーが放射される空間をみたときの音響インピーダンス。	Z <sub>a</sub>	Ω	acoustic loading